

マンションの省エネ基準適合化についての事業者ヒアリング

Q 現行で省エネ基準に適合していないマンションについて、

- ・ 適合させるためのコストアップはどの程度か。また、その負担感はどの程度か。
- ・ コストアップはどの部分にかかるのか。

(回答)

事業者A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常、1戸 75 m²程度で施工費はおよそ 1600 万円。 ・ 平成 11 年基準を満たすには断熱材を厚くする必要があり、5～10 万円の増となる。 ・ 平成 25 年基準を満たすにはさらにペアガラスにする必要があり、20 万円の増となる。 ・ 他にも設備(白熱灯を蛍光灯に変更、高断熱浴槽 等)での対応も必要になり、トータルで 30 万円強の増とみている。 ・ 施工費の検討をする際、この 30 万円 (参考 約 2%弱)は高いという感覚を持っている。
事業者B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近、マンション建設は何かと手がかかるためゼネコンにも敬遠されており、施工費も上昇の傾向にある。 ・ そのような中、省エネ対策は購入者にとって「見えない部分」であり、こうしたところにかかる費用は、わずかであっても避けたい。コストをかけるのであれば、食洗機を入れるなどなるべく「見える部分」にかけたい。
事業者C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在平成 11 年基準をクリアしており、平成 25 年基準もクリアする予定で検討中。 ・ 平成 25 年基準への変更については、断熱材の厚みを増す必要がある。また、省エネ対策に係る設計費も平成 11 年基準に比べ上がっている。 ・ コストアップの詳細については、現在検討中。 ・ 現在、施工費が上昇傾向にあり、わずかでも切りつめたい状況であり、平成 25 年基準対応にかかるコストアップは負担感が大きい。